

新しい交流拠点の誕生です 道の駅のグランドオープン

飯舘村公式
キャラクター
イイタネちゃん

祝
いいたて村の道の駅までい館
グランドオープン

祝 オープン!

渋谷公園通商店街から
お祝いに駆けつけた
くもっくる

いいたて村の道の駅までい グランドオープン

[特集]

オープンしました! いいたて村の道の駅までい館



花玉が彩るまでいホール

いいたて村の道の駅までい館 グランドオープン!

が贈られました。

品としてコチヨウランの鉢花
の浅見さん家族に記念
人を記録。茨城県からお越
日には、早くも来場者5万
2週間が経過した8月25
グイベントが続きました。
開業後も多彩なオープニン
生まれながらの交流拠点。
この個性豊かな道の駅は、
まな人の協力で誕生した、
町村、村とつながるさまざ
関係機関やゆかりの市

来場者は早くも 5万人を記録

いいたて までい館

8月12日、県道原町川俣線沿いの深谷地区に、「いいたて村の道の駅までい館」が開業しました。セレモニーでは、開店を待つ村民と関係者が一緒にくす玉を割り、グランドオープンを祝いました。



俱知安町の羊蹄太鼓保存会が開業を祝い太鼓を熱演



花玉が香るホールで多くの人が食事を楽しみました

いいたて四季彩景 ● はやま湖花火大会

8月19日、はやま湖畔で7年ぶりに開かれました。湖面を染める水中花火の輝きです。



CONTENTS 目次

- 3 特集1 OPEN!いいたて村の道の駅までい館
- 6 特集2 旅のアルバム「沖縄までいの旅」「未来への翼」
- 10 復興を歩む 飯桶の盆踊り
- 12 教育のページ いいたてっ子の夏祭りほか
- 14 ほけんとふくし 長寿番付
- 15 お知らせのページ 電気牧柵・堆肥の支援
- 16 いいたて便り
- 18 つながるアルバム
- 20 おしらせ
- 21 入札結果
- 22 ひとかたるものがたり / 堀先生相談室
- 23 こころのぼけっと / ひとのうごき
- 24 ホープス / 編集後記

開業したての道の駅に現れた村の公式キャラクター「イイタネちゃん」は子どもからも大人からも大人気。うれしくて思わず大きな花が咲いちゃっタネ!



●表紙のおはなし●



19日

「小宮の田植え踊り」(上)、「比叢の三匹獅子」(下)が、オープンを祝いこの日は全編を披露

伝統芸能とキャラクターショー

特設ステージで、村の伝統芸能が披露されました。また、村の公式キャラクター「イタネちゃん」も、ゆかりの市町村のご当地キャラクターと一緒に登場。会場を盛り上げました。



左から、ふなやん(伊根町)、イタネちゃん、もりん(福島市)、ペリーちゃん(鹿沼市)、司会は、までい大使の菅原美智子アナウンサー

災害救助犬じゃがいもら愛犬が里帰り

12日



訓練の成果を披露する上村さんとじゃがいも

岐阜県のNPO法人「日本動物介護センター(山口常夫理事長)」から、災害救助犬じゃがいもらが里帰り。じゃがいもは、「飯館村わんだふるまでい大使」の任命を受け(詳細P17)、訓練士の上村智恵子さんと災害救助のデモンストレーションを披露しました。また、同センターから高野守さん(関沢)の愛犬など計3頭が帰村しました。



犬の家も建て替えたんだよ

高野さん夫婦(右の2人)と愛犬の大和・小春

福大の交流イベント&ラジオ福島生放送

20日

ラジオ福島の公開生放送。この日交流イベントを催した福島大学の先生や学生も出演し、村の魅力や村とのつながりを紹介しました。



「何度でも足を運びたい」。福島大学の黒大太郎准教授(右から2人目)と3年生の阿部峻己さん(右端)



までい館は、たくさんの人の思いから生まれ、これからも育まれていきます

8月11日から25日までのできごとをダイジェストで紹介します



世界をスマイルでいっぱいになりたい



堀口さん

村民の笑顔が道の駅を飾る

道の駅の中と外に、村民の笑顔を書した70枚を越える特大写真が飾られました。撮影したのは写真家の堀口マモルさん。株式会社日本HPがプリントを支援くださいました。

12日



笑顔で迎えてくれてありがとうございます!

寛平さん(左から2人目)のゴールを、菅野村長とイタネちゃんが歓迎しました

間寛平さん「みちのくマラソン」で来場

間寛平さんが東北の被災地を走って各地に元気を届ける「みちのくマラソン」。12日間の行程の5日目は、村の道の駅にゴールしました。ゴールで菅野村長とガッチリ抱き合った寛平さん。マラソンを共につなぐ吉本興業の芸人たちと、イベント広場でお笑いライブを開き、「大変やけど、がんばろうな」と来場者を励ました。

16日



お米を食べてやる気!元氣!

夢川ゆいちゃんの撮影会を開催

アニメ「アイドルタイムプリパラ」の主人公の1人、夢川ゆいちゃんの撮影会を開催。遠来のファンや道の駅の来場者が、交流を楽しみました。ゆいちゃんは電子ジャーを持ち歩くほどのご飯好きで、JA全農の「お米応援大使」を務めています。お米の魅力を伝えつつ、道の駅のPRにも一役買ってくれました。

15日



©T-ARTS/syn Sophia/テレビ東京/IPP製作委員会

道の駅のシンボルとなるモニユメント 制作者の重岡建治さんが来場し村長と除幕

11日



作品名「までい讃歌」

彫刻家・重岡建治さんの作品「までい讃歌」「までいと共に」の2つの彫刻が、道の駅の入り口に設置され、竣工式に合わせて、除幕が行われました。また、重岡さんから寄贈をいただいた、彫刻をあしらった木製のベンチは、情報コーナーに設置されました。

村再生の願いを作品にこめました



重岡さん

休業日のお知らせと9月からの営業時間

ご利用ありがとうございます。までい館は9月から毎週水曜日を定休日とします。また、9月から3月末までの営業時間等は以下の通りです。

までい館 10:00~18:00 水曜定休
コンビニ 6:00~20:00 年中無休
公衆トイレ 24時間 年中無休



村の特産品や野菜・花きの他、ゆかりの市町村の魅力ある特産品も目白押しです

5 平成29年9月号 いいたて

いいたて村の道の駅 までい館

までい館来場者5万人を達成!

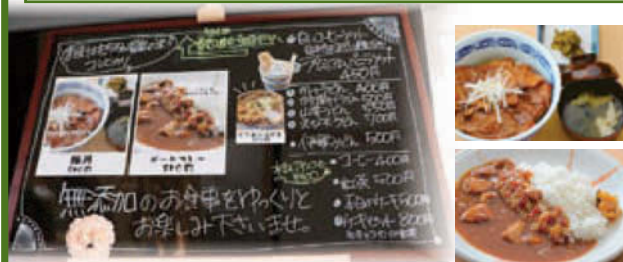
25日



びっくりしましたがうれしいです!

家族で茨城県の浅見さん母娘

お盆の帰省客や旅行客の来場が予想を大きく上回り、なんと開業からわずか2週間で、来場者数が5万人を突破。5万人目の来場者にコショウランを贈りました。



花玉の下で楽しむ無添の食事も大人気!

ランチタイムは11:00~14:00

雪のすべり台が登場 楽しい縁日コーナーも

12日



雪のすべり台が登場 楽しい縁日コーナーも



オープンに合わせて、北海道倶知安町の「くっちゃん21雪ダルマの会/柏谷匡胤(まさつぐ)会長」が来場。雪のすべり台と雪だるまを作り、来場者を楽しませてくれました。すべり台で歓声があがるイベント広場には、その他、縁日コーナーも設けられ、子ども連れで大いににぎわいました。



2017 旅のアルバム

旅を通して成長する子どもたちの姿を報告します



「平和祈念公園」では、沖縄戦などの戦没者の名前を刻んだ「平和の礎（いしじ）」に献花を行いました。世界の恒久平和を願い、礎には、国籍や、軍人・民間人の区別なく人々の名が刻まれています



人々が戦火を逃れて身を隠したガマと呼ばれる自然洞窟で。太平洋戦争の悲劇を学び黙祷を捧げました

琉球王国の栄華を伝える首里城の「守礼門」にて



平和の尊さを 心に刻む旅

昭和20年、太平洋戦争における地上戦の戦場となった沖縄。そこで激しい戦禍に巻き込まれた沖縄は、戦争がもたらす悲劇と苦しみを今に伝え、平和の大切さを訴え続けています。「平和祈念公園」「ひめゆりの塔」などを訪れた26人の小学生6年生は、沖縄の美しい景色の中で、そうした歴史を学び、平和の尊さを深く心に刻みました。

また、旅は、子どもたちのさまざまな力を引き出していきましました。多くの命が失われたチビチリガマ（戦争遺構の洞窟）では、語り部の言葉に耳を傾け、「誰が」「何のために」と質問しメモを取りました。シムクガマに入った際には、「滑りやすいよ」「天井が低いから気をつけて」と声を掛け合いました。友達の手元をライトで照らす人もありました。研修後半になると、準備が遅れた友達を手伝ったり、班員同士で注意を促したり。自然に助け合う力を身につけ、視野が広げながら成長していく姿がありました。



「美ら海水族館」の大水槽。海の豊かさを実感します



残波ビーチでは、夏空の下、海遊びの楽しさを満喫



読谷村で、地元の子どもたち、岐阜県白川村の子どもたちと交流。歌や踊りを交えて故郷を伝え合いました



沖縄までいの旅

7月21日から24日に行われた「沖縄までいの旅」。小学生6年生が戦争と平和を学び、沖縄の文化・自然の美しさ人の温かさに触れた、かけがえのない4日間でした。



未来への翼 カナダ研修

7月26日から10日間の日程で実施された「未来への翼カナダ研修」。日本を飛び出した15人の中学生が、それぞれの思いを胸に翼をはばたかせました。



HOME STAY ホームステイ

個性豊かなホストファミリーと、楽しい週末を過ごしてきました

自然な触れ合いを楽しむ生徒たち。地域ぐるみで育まれた「いい子育ての底力」かも



日本文化を紹介。けん玉の技も披露しました



FAREWELL PARTY フェアウェルパーティ

地元の中高生たちとピクニックで交流。英語でのコミュニケーションを頑張りました

PICNIC ピクニック



谷に張ったワイヤーを伝うジップトレックで、ウイスラー山麓の雄大な自然を体感

ZIP TREK ジップトレック

谷渡りもこの余裕！



中学1年生から3年生の合わせて15人がカナダを訪れた「未来への翼」。バンクーバー市やウイスラー市を中心に、「グリーンシティ」の取り組みを学ぶ研修やフィールドワーク、2泊のホームステイなどを体験しました。

ちががあれば、身振り手振りも駆使して何とかなる」と、生徒たちは柔軟。旅先のハプニングもまた貴重な勉強だったようです。ホストファミリーからも、「とても礼儀正しい」「感謝を伝えてくれて、うれしかった」とほめていただきました。

海外研修は、大きな挑戦。一人ひとりが思いを抱いて参加していました。やり遂げた達成感も大きかったことでしょう。それぞれの夢の翼に、次の挑戦を翔ぶ力を蓄えました。

雄大な自然に抱かれるウイスラービレッジ

2017 旅のアルバム

旅を通して成長する子どもたちの姿を報告します



カナダの空にはばたいた夢の翼

「外国ってどんな所なんだろう。自分の目で見てみたい」と、以前から考えていました。初めての海外。来ることができて本当によかったです。写真や映像もたくさんとりました。機会があったら、また研修に参加して、他の国も知りたいと思っています。

草野周星さん

自分には積極性が足りないと思っているので、そこを変えたいと思って参加しました。視野を広げて、自分が思い描いている「将来の夢」を確かめたい気持ちもありました。来てよかった。最終日になっても、もう少し旅をしていた気持ちでした。

齋藤百桜さん

バンクーバーのシンボル「蒸気時計」の時報

8月14日の午後、時折小雨が降る中、飯樋町集会所前の広場では、やぐらの準備が進められていました。震災で途絶えていた盆踊りの、7年ぶりの復活です。

この復活に立ち上がったのは、「復興有志の会」でした。会による実行委員会の荒利喜委員長（飯樋町）は、「汗をかき、金を出し、文句を言われ、頑張っているんだよ」と笑います。「笑っているけど、ホントのことだからね」。慎重論もあった中、実行委員会は、開催実現に奔走しました。

やぐらが仕上がると、カラオケを楽しみながら、盆踊りの時間を待ちます。震災前を思い起こさせる、懐かしい光景です。かつて飯樋町で行われていた盆踊りは、お年寄りから幼な子までが心待ちにする一大イベントでした。祭り提灯が灯る下に、たくさんの屋台が並び、大勢の人たちが、帰省した家族を連れて、

会場にやってきました。踊り手の表彰もあることから、盆踊りにも力が入り、仮装部門の入賞を目指す参加者の過激な仮装は、語り草となる名物でした。

やぐらの上で、花塚太鼓が鳴り響き、いよいよ盆踊りの始まりです。「私たちの盆踊りは、いつも生演奏なのよ」と、子連れの女性が教えてくれました。小さな子どもから、車イスを押されて来場したお年寄りまで、約80人が、やぐらを囲んでいました。荒さんは、万感の思いを込めてマイクを握ります。「数十年、地区が引き継いできたもの。我々の代で失くす訳にはいかない。先人の思いを次の世代につなぎたい」。

はじめ20人ほどが作った踊りの輪は、次第に大きくなり、やがて二重になって、熱気を帯びていきました。初老の男性が、涙を浮かべています。「酔っ払ったかな、涙が出るぞ」。浴衣姿の人もあります。「毎年こうして踊っていたの」。埼玉から父親の実家に里帰りしたという小学生は、初めての盆踊りを、見よう見まねで一生懸命踊っていました。

以前のような体制が取れない中での開催は、苦心の連続でした。準備や片付けには福島大学の学生らが協力。村を支援する「いいたてまでの会」からは賞品の提供がありました。「いろいろな人から力を貸していただきありがたい」と荒さん。盆踊りの輪が解けお開きの時間になると「先祖の供養だから、しっかりやれるようになっていきたいね」「来年はもっとにぎやかになるかな」と早くも来年を心待ちにする声があちらこちらから聞こえてきました。



飯館中 × ^{はやどおり}早通中 × 栄光学園 × 上智大 **交流**
ぼくたちに、できること。



▲それぞれの地域での取り組み、現状と課題ついて、「学生」の視点から積極的な話し合いを行いました

学生の視点から考える地域づくり

8月9日、飯館中学校仮設校舎で、飯館中学校、新潟市立早通中学校、私立栄光学園（神奈川県／中高一貫校）、上智大学の生徒・学生が、夏休みを活用した交流会を行いました。会では、「学生ができること」を中心にした町づくり・村おこしなどをテーマに交流が行われました。

はじめに、飯館中学校の田植え踊りや民話紙芝居制作、早通中学校の「中学生が作る防災マップ」などふるさと教育の取り組みが紹介されました。会の後半には、班に分かれて「学生が、地域にできること」をテーマに、それぞれの視点から地域づくりについて議論を交わしました。大谷結美さん（飯館中3年）は、「村内だけでなく、村外の人と交流することの大切さを感じました。今の村民や観光客のことだけでなく、これからの村をどうしたいのかをしっかりと考えるべきだと感じました」と感想を話しました。



▲早通中学校歌をアレンジした早中総踊りが披露されました

～ 学生が考える地域づくり。声をご紹介します！～

- 地域に伝わる伝統に触れる機会を、お祭りや地域行事を通して増やしていく。
- 学生が月1回、地域の名産品などを売り、情報を発信していく。
- 郷土料理や、地域オリジナルメニューを開発してPRする。
- 防災について、防災マップをもって実際に歩いて確かめるなど、学生ができることを日々行っていく。



▲獅子舞で子どもたちの健康を祈りました



▲うちわであおいで、風おこし！キラキラ笑顔がまぶしい☆

おめでたや！おめでたや！
すすすすく夏の陣

8月2日、子育て支援センター1号館で夏祭りが行われ、親子16組が、保育園や幼稚園で遊び教室などを行っている多田純也さんと親子遊びで楽しいひと時を過ごしました。

集まった親子は、夏祭りにぴったりのねじり鉢巻きや法被を身に着けて、全員で太鼓を演奏するなど日本の夏を楽しんでいる様子が見られました。

この日初めて獅子舞を見た細杉妃花瑠さん（1才）は涙顔。母親の早希さんは「獅子舞を見たのが初めてで泣いてしまいました」と感想を話しました。



▲教室では、射的や輪投げコーナーが大盛況！

8月19日、飯館中学校仮設校舎において、村PTA連絡協議会と「おやじプロジェクト」が合同で、「いいたてっ子夏祭り」を開催しました。この祭りは今年で3回目。保護者らが中心になり、「子どもたちに笑顔！」と開催を続けてきました。

この日は、流しそうめんや水ヨーヨーつりコーナーで夏のひと時を存分に楽しむ子どもたちの姿が見られました。また、祭りには、地元・飯野町の子どもたちも訪れ、盆踊りなどに参加し交流を深めました。菅野拓真くん（飯館小4年）は「友達がたくさん来ていて楽しい。かき氷がおいしかった」と笑顔を見せていました。



夏の思い出
いいたてっ子夏祭り

～生きがい農業・なりわい農業～

電気牧柵・堆肥の導入支援を行っています！

村では村内での作付届出を提出いただいた方には、ご要望に応じて電気牧柵ならびに堆肥の導入を支援しています。生きがいとしての農業やなりわいとしての農業まで幅広く受け付けておりますので、農政係までお問い合わせください。

☎ 復興対策課農政係（本庁 ☎0244-42-1621）

電気牧柵の導入支援

村が福島県営農再開支援事業を活用して資材等を準備します。原則として、利用者の方には設置作業などを実施していただきます。



イノシシ対策用(3段)

懸念される獣害の状況に応じて、イノシシや小動物対策には電気牧柵を、サルを含む獣害対策用にはワイヤーメッシュ柵を導入しています。牧柵の設営には時間を要しますので、必要時期の2か月前までに農政係までご要望ください。



サル対策用(5段)



サル対策用(ワイヤーメッシュ柵)

堆肥の導入支援

村が福島県営農再開支援事業を活用して、10アール当たり1トンの完熟堆肥を導入します。作物によって必要量は異なりますので、あらかじめ農政係までご相談ください。



堆肥の運搬のようす(公社に一時保管)



堆肥のほ場への搬入のようす



91歳以上長寿番付

年齢基準日 平成29年4月1日 ※名簿は生年月日順となっています。

男		年齢	女			
氏名	行政区		氏名	行政区	氏名	行政区
		102歳	古川 ハナ	小 宮		
		101歳	古川 トミ子	伊 丹 沢		
		100歳	鳴原 フカノ	長 泥		
		99歳	高橋 スギノ	関根・松塚	菅野 ツルノ	比 曾
			菅野 菊栄	伊 丹 沢	大東 春子	宮 内
		98歳	佐藤 菊美	伊 丹 沢	小泉 チヨ	伊 丹 沢
庄 司 徳 松	大 倉	97歳	高橋 嘉子	伊 丹 沢	市澤 ウメヨ	前 田
佐 藤 宗 雄	小 宮		山田 ヨシエ	伊 丹 沢	長澤 マスイ	大 倉
			菅野 カツイ	比 曾		
		96歳	荒 二三子	飯 樋 町	桑 名 幸 美	草 野
			西川 ケサヨ	伊 丹 沢	山田 マキヨ	伊 丹 沢
			坂本 チヨ	草 野	赤石澤 ツメ子	大久保・外内
			佐藤 ナミヨ	大 倉	阿 部 キノ	二枚橋・須萱
			愛澤 ハツノ	伊 丹 沢	加藤 シヲ	伊 丹 沢
菅野 利光	小 宮	95歳	藤井 シギ	上 飯 樋	高橋 光子	長 泥
伊藤 保	伊 丹 沢		佐藤 ユリ	佐 須	志賀 ヨシ子	蔵 平
八巻 誠一郎	草 野		花井 トヨ	伊 丹 沢	馬場 保子	白 石
			田村 マツヨ	比 曾	阿 部 コナミ	宮 内
今野 義実	前田・八和木	94歳	高橋 みつ	前 田	坂井 チヨ子	飯 樋 町
佐藤 一二	前 田		大澤 フチノ	上 飯 樋	庄 司 シゲ子	関 沢
佐藤 嘉兵衛	宮 内		小野 ツルヨ	蔵 平	大澤 フジヨ	上 飯 樋
星 節	八木沢・芦原	93歳	菅野 トミヨ	伊 丹 沢	庄 司 ヒデ	関 沢
菅野 次男	佐 須		池田 ハルヨ	伊 丹 沢	廣島 ヨシノ	深 谷
今野 勇	上 飯 樋		菅野 ナミ	伊 丹 沢	村 山 節子	深 谷
木幡 安明	飯 樋 町		大谷 イサノ	上 飯 樋	高橋 アキヨ	前田・八和木
大谷 春吉	小 宮		佐藤 オイシ	伊 丹 沢	坂本 レン	小 宮
			佐藤 ハルヨ	前 田	平栗 智恵子	伊 丹 沢
			北原 清子	宮 内	赤石澤 チイ子	二枚橋・須萱
			佐藤 ハル子	草 野	高野 みよの	八木沢・芦原
			須田 ナツ	伊 丹 沢	菅野 フミ子	関根・松塚
坂本 登	小 宮	92歳	佐藤 フミヨ	二枚橋・須萱	松林 サクヨ	大久保・外内
中川 廣男	宮 内		佐藤 チヨノ	宮 内	齊藤 マツヨ	深 谷
佐々木 市郎	八木沢・芦原		小林 モモヨ	伊 丹 沢	五百川 ミツ子	蔵 平
巻野 秋重	伊 丹 沢		横田 フミエ	草 野	佐藤 ミサオ	上 飯 樋
大河内 竹藏	前 田		木幡 ヤスノ	飯 樋 町		
齋藤 光一	八木沢・芦原		高橋 トヨ	前田・八和木		
山田 二正	伊 丹 沢		齋藤 スイ子	前 田		
佐藤 丑三	草 野		庄 司 千代	小 宮		
高橋 政幸	八木沢・芦原	91歳	赤石澤 ヨシ子	飯 樋 町	庄 司 ヤイ子	伊 丹 沢
星 廣見	前田・八和木		菅野 アサコ	小 宮	高橋 フチノ	小 宮
庄 司 孝夫	関 沢		高倉 アイ子	関 沢	横山 キクヨ	前田・八和木
小山 辰雄	草 野		赤石澤 フサイ	大久保・外内	今野 ハナ	前田・八和木
高橋 一	小 宮		末 永花江	小 宮	星 ハナヨ	上 飯 樋
細川 一	上 飯 樋		齋藤 トヨイ	大久保・外内	佐藤 ヨシノ	八木沢・芦原
井上一三	関 沢		三浦 ハシメ	深 谷	菅野 フチノ	長 泥
村山 二郎	深 谷		齋藤 繁	深 谷	堀井 リン	草 野
菅野 良雄	比 曾		高橋 富江	深 谷	大内 初子	関 沢
高橋 圓平	長 泥		松浦 ミツイ	草 野	鳴原 キン	飯 樋 町
			小林 ハル子	小 宮	菅野 靖子	草 野
			佐藤 コウ	宮 内	伊東 シミイ	関 沢

皆さーん！

9月10日(日)は
飯館村

敬老会
ですよ！

村では、飯館村の発展に貢献されたお年寄りの皆さんをお招きし、長寿を祝う敬老会を9月10日に飯館中学校仮設体育館(飯野町)で行います。演芸などのステージ発表もありますので、ぜひお越しください。



飯館村敬老会

日時

9月10日(日)
午前10時30分～

場所

飯館中学校仮設体育館
(飯野町)

内容

金婚夫婦表彰
演芸などステージ発表
など

お問い合わせは

村役場健康福祉課福祉係まで
☎0244-42-1633

災害救助犬じゃがいもが わんだフルまでい大使に



「大いに活躍を」と菅野村長から「飯館村わんだフルまでい大使」の名札を贈られるじゃがいも

8月14日、「いいいて村の道の駅までい館」で、「飯館村わんだフルまでい大使任命式」が行われました。任命を受けたのは、村出身の災害救助犬「じゃがいも」です。じゃがいもは、避難中に村内で生まれた雑種犬で、預けられた岐阜県のNPO法人「日本動物介護センター（山口常夫理事長）」で災害救助犬の訓練を受け、11回もの挑戦を経て認定試験に合格しました。今後は災害救助犬として活動するかたわら、村のPR大使も務めます。じゃがいも、よろしくね!

長泥行政区がミニ拠点の 要望書を提出しました



要望書は村役場本庁の村長室で嶋原良友行政区長（左）から菅野村長に手渡されました

8月8日、長泥行政区が、村に要望書を提出しました。この要望書は、現在の集会所や体育館などがある場所に、宿泊施設や資料館などを建設し、「ミニ復興拠点」として整備することを求めるものです。帰還を希望する住民のための災害公営住宅の整備や、農地の一部に太陽光発電施設を建設することなども、合わせて要望しています。地区では、この拠点の整備を復興の足掛かりにしていきたいと考えており、行政区総会での説明などを経て、提出に至ったということです。

職員のアイデアいっぱい ホームのあったか納涼祭



祭り提灯が下げられた会場。廊下には手作りの灯笼が飾られ、外では花火も楽しみました

8月18日、特別養護老人ホーム「いいいてホーム」で、恒例の納涼祭が開かれました。今年も職員が心をこめて準備した手作りのお祭りです。串揚げ、わたあめ、ソフトクリームにチョコバナナと、お祭りグルメの模擬店も用意しました。入所者は、浴衣や甚平を着て、会場へ。髪飾りをつけたり、化粧をしたり、おめかしした女性たちは、その少しはにかんだ笑顔がとてもチャーミングでした。訪れた家族の皆さんも、入所者の車イスを押ししたりしながら、一緒に納涼祭を楽しんでいました。

「道の日」に合わせて 道路の美化活動を実施



翌日に竣工式、翌々日に開業をひかえた道の駅と県道沿いの花畑などを中心に、ゴミを拾いました

「道路ふれあい月間」の行事として、毎年8月10日の「道の日」に合わせて、各地で道路の美化活動が行われています。村では今年も、相双建設事務所と地元企業、村の関連部署などが協力して、県道原町川俣線で、ゴミ拾いなどを行いました。当日は約40人の参加者が、交流センター「ふれ愛館」前に集合。開業直前の道の駅を中心に、歩道や道路脇などのゴミをていねいに拾い、美化に努めました。きれいにさせていただいた状態を維持できるように、利用する側も心がけていきましょう。

はやま湖花火大会を開催 7年ぶりに大輪の花火咲く



湖面は輝き花火の音が谷間にこだましました

8月19日、はやま湖（真野ダム）の湖畔で、7年ぶりの花火大会が開催されました。「2017年はやま湖花火大会実行委員会（高木正勝委員長）」の主催によるもので、復活した地元の花火を一目見ようと、多くの観客が訪れました。オープニングには、地元・大倉の神楽が披露され、村とかねてから交流する女優・浜美枝さんのトークショーも華を添えました。打ち上げられた花火はスターミンや水中花火など合わせて約250発。花火の輝きが、湖面と夜空を鮮やかに染め上げました。

福島大学の学生が開いた 手作りのビアガーデン



「までいな家」の前庭に村の人も集まり浴衣姿の大学生たちと盆踊りなども楽しみました

8月10日、福島大学の学生たちが、村役場に隣接する「までいな暮らし普及センター」通称「までいな家」で、ビアガーデンを開きました。会場には、村内外で村民が作った野菜のおつまみも並び、夕暮れ時になると、浴衣姿の大学生が、足を運んだ村民を笑顔で迎え入れました。福島大学は、この春、村と協力協定を結んでおり、村を元気づけるさまざまなプログラムを実施しています。企画した大学生らは、「来年度以降も続けていきたい」と継続的な活動に意欲を見せていました。



村に駐在する農研機構の万福裕造さんが現状を解説

「飯樋4区連絡協議会」が、宿泊体験館きこりで、農業勉強会を行いました。この勉強会は、営農再開に向けた課題やこれからの村づくりについて共に考えようというもの。村の復興対策課を招いて現状を聞き、参加者が意見を交換しました。「村民のつながりこそ、最も重要な復興の形」「暗い話ばかりじゃなく、できることをやっていこう」など前向きな発言が多く聞かれました。



今後の取り組みについて、参加者が意見を交換

飯樋4区
連絡協議会

8/4

7/29

伊達東応急
仮設住宅



ライブで夏祭りを盛り上げるハラハラシンガーズ



「あっち」「そっち」と指示がとぶスイカ割り



2校合同の演奏。見事な太鼓に住民も拍手喝采！

松川第一
応急仮設住宅

8/5

7/30

飯館村
相馬流れ山
保存会



集団による鮮やかな演舞で野馬追を盛り上げました



演奏後は住民の手を取り言葉をかけてくれました

宮城県で行われた高校生の文化の祭典「みやぎ総文2017」に参加していた日本福祉大学付属高校（愛知県）と京都橘高校（京都府）の和太鼓部が仮設住宅を訪れました。部員の皆さんは、集会所前の広場で、若さあふれる勇壮な演奏を披露し、感動いっぱいの住民たちと触れ合いました。また、演奏後には、集会所で菅野村長から話を聞き、被災地の現状を学んでいました。

「飯館村相馬流れ山保存会」が、南相馬市の夏の風物詩「相馬野馬追」の会場で、12年ぶりに踊りを披露しました。会員は、「南相馬市相馬流れ山保存会」と合同で練習を重ね、この日に臨みました。相馬地方伝統の祭りを見学する大勢の観客の前での披露。「久しぶりで緊張する」と話していた人もありましたが、無事に披露を終えて、笑顔を見せていました。



練習の成果を披露して晴れやかな笑顔の参加者たち

入札結果をお知らせします

入札日／4月24日（単位：円）

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
第7号 井戸掘削（ボーリング）工事 （飯樋字割木 地内）	3,672,000円	庄建技術(株)	平成29年 8月上旬
第1号 帰還再生生活道路整備測量設計業務	47,196,000円	(有)大内測量設計事務所	平成29年 12月下旬
桶地内団地建替え地盤調査業務	3,024,000円	庄建技術(株)	平成29年 12月下旬
復興村営住宅桶地内団地建替え整備実施設計業務	13,824,000円	(株)邑建築設計事務所	平成29年 12月下旬

入札日／5月26日（単位：円）

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
飯館村役場庁舎空調機入替工事	8,100,000円	コボックス(株)	平成29年 7月中旬
飯館村役場庁舎電話設備更新	6,467,040円	東日本電信電話(株) 福島法人営業部	平成34年 8月下旬
飯館村消防団第一分団機動部ポンプ車購入	24,840,000円	福島消防資材(株)	平成29年 12月下旬
道の駅までい館備品	5,259,600円	(有)マルショウ事務機	平成29年 7月下旬
花卉栽培・多目的広場造成工事	76,140,000円	濱田建設工業(株)	平成30年 1月下旬
復興住宅エリア造成工事	78,732,000円	横山建設工業(株)	平成30年 3月下旬
道の駅までい館建設工事積算業務	1,900,800円	ふくしま市町村支援機構	平成29年 6月上旬
介護予防拠点等空調設備機能回復工事	5,119,200円	(有)長谷川電気工事	平成29年 7月下旬
大火山ツツジの森整備業務	3,240,000円	飯館村森林組合	平成30年 1月下旬
村内放射線モニタリング事業業務	24,408,000円	NPO法人ふくしま再生の会	平成30年 3月下旬
棟梁点検修繕計画策定業務	7,020,000円	(一財)ふくしま市町村支援機構	平成29年 12月下旬
第26号 帰還再生生活道路整備工事	8,856,000円	(有)福相建設	平成29年 8月下旬
第8号 井戸掘削（ボーリング）工事	3,672,000円	庄建技術(株)	平成29年 9月中旬
第9号 井戸掘削（ボーリング）工事	3,672,000円	庄建技術(株)	平成29年 9月中旬
第10号 井戸掘削（ボーリング）工事	3,672,000円	庄建技術(株)	平成29年 9月中旬



おしらせ

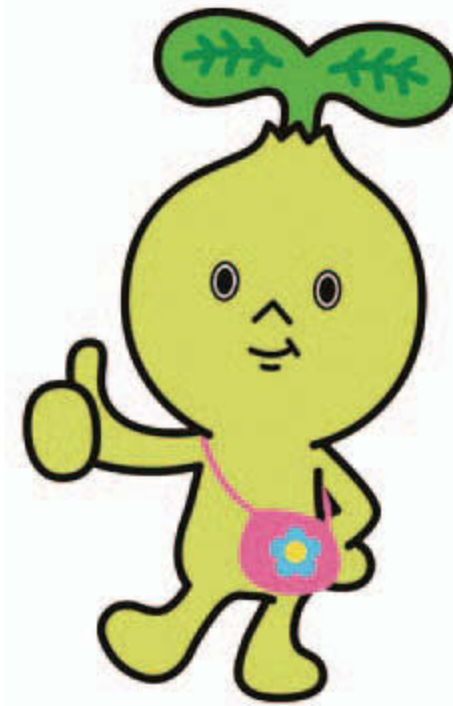


よろしくタネ！ イイタネちゃん

8月11日、道の駅の竣工式に合わせてお披露目となった村の公式キャラクター「イイタネちゃん」をご紹介します！
キーホルダーやメモ帳などのイイタネちゃんグッズは、道の駅で販売中です。また、お笑いコンビたんぼの白鳥久美子さんが歌うイイタネちゃん公式ソング「笑顔のタネ♪」は村ホームページ、村公式 Facebookなどで公開しています。ぜひ、ご覧ください。



- 名前：イイタネちゃん
- 種族：植物の妖精
- 性別：不明（一人称はボク）
- 出身地：飯館村とつながっている小さな小さなヒミツの姉妹村「イイタネ村」
- 誕生日：8月11日
- サイズ：だいたい手のひらサイズ
- 体重：綿あめのように軽い
- 性格：超プラス思考 / コツコツ努力するタイプ / までいに生きている



飯館村公式キャラクター
イイタネちゃん

8月の村の動きと主なできごと

- 2日・相馬農業高校飯館校演劇部 全国高等学校演劇大会出場（宮城県仙台市・イズミティ21）
- 3～5日・駅伝合宿（山形県上市市）
- 4日・教職員・新採用職員村内めぐり（いいたて村の道の駅までい館他）
- ・飯樋4区連絡協議会 農業勉強会（宿泊体験館きこり）
- 5日・松川第一仮設住宅自治会懇談会（松川第一応急仮設住宅集会所）
- 6日・関根・松塚行政区 農業基盤整備説明会（関根・松塚集会所）
- 8日・村議会議員選挙立候補者説明会（村役場本庁）
- ・大阪大学と協定協定を締結（村役場本庁）
- ・長泥行政区が村にミニ拠点整備の要望書を提出（村役場本庁）
- 11日・いいたて村の道の駅までい館 竣工式（いいたて村の道の駅までい館）
- 11・12日・子どもキャンプ（太玉村・フォレストパークあだたら）
- 12日・いいたて村の道の駅までい館 グランドオープン（いいたて村の道の駅までい館）
- 14日・飯館村わんだフルまでい大使任命式（いいたて村の道の駅までい館）
- ・日本動物介護センターから避難犬が里帰り（いいたて村の道の駅までい館）
- 18日・相馬西仮設住宅自治会懇談会（相馬大野台応急仮設住宅集会所）
- 19日・はやま湖花火大会（大倉地区・はやま湖畔）
- 20日・村民グラウンド・ゴルフスポーツ交流会（飯館中学校）
- ・佐須行政区役員会 農業基盤整備説明会（佐須集会所）
- 21日・齋藤健農林水産大臣 までい館及び村内花卉・畜産農家等の視察（関根松塚地区ほか）
- 22日・第8回農業委員会定例会（村役場本庁議場）
- ・定例教育委員会（村役場本庁）
- 25日・第1回行政事務改善委員会・行政機構改革検討委員会（村役場本庁）
- 27日・飯館村野球連盟理事長杯（福島市・蓬萊中央公園野球場他）
- 28～9月8日・9月議会定例会（村役場本庁議場）
- 28・29日・いいたてつ子交流会 松川第一応急仮設住宅／草野・飯樋・白石小学校）
- 29日・伊丹沢行政区 農業基盤整備説明会（伊丹沢集会所）

不足が 財産？

こころの ぽけっと

「お金がない」「時間がない」「私には運がない」といつも嘆いている方がいるものです。もし、お金がいっぱいあったら幸せになれたり、時間がいっぱいあったら何でも可能になるのでしょうか。多分、アイデアが出てくるのはお金が足りない時であり、時間が足りない時にスピード感が出て、工夫が生まれるような気がします。日本は、世界有数の勤労意欲の高い国なはずですが、資源のない国だからです。原油が出る国は、税金ゼロ、教育費ゼロ、医療費ゼロで逆にお金ももらえるような環境の中では、勤労意欲が湧くはずはありません。多分、お金のある生産国特有の悩みでしょう。社会主義国も、勤労意欲の低下で行き詰まったはずで、お金がないことで、アイデアを出し、時間がないことで工夫が生まれ、スピード感が付いて、仕事が進みます。進み、仕事に、人生に生きがいややりがいが出てくるというものでしょう。

飯館村は、原油国でも社会主義の村でもありません。したがって、村の先人は厳しい状況の中で一生懸命働いて、このふるさとを少しずつ住みよい村にしてくれました。その村を引き継ぐ私たちが、この想定外の状況の中で、商工業や農業に関わらず「もう一度、がんばってみよう」と手を上げていただく方がどんどん多くなっています。その心意気に頭が下がりますし、うれしくもあり、誇りでもあります。今のこの大変な状況を「私たちの財産」にしていくというような考え方にしたいものです。

平成29年8月18日 飯館村長 菅野 典雄

●ひとかたるものがたり ● 第6回 荒利喜さん (飯樋町)



荒商店を営む傍ら村酒販店会の代表を務めています。村消防団の団長を平成28年に退任。現在は復興団体のさまざまな活動に携わっています。

震災時は消防団の団長を務めていて、村の災害対策本部に詰めていました。燃料や水の問題に対処して、無我夢中の毎日でした。避難をしたのも最後の方でしょう。避難してからも、村内のパトロールに通いました。その年は火災も多くて、消防団の団員にはよく頑張ってもらいました。平成26年には、村内で消防操法大会も開催できましたし、団の皆には本場に世話になり、今も感謝しています。

村の特産品として開発した「おこし酒」は、誕生から30年が経ちました。「村にお越しく

「お金がない」「時間がない」「私には運がない」といつも嘆いている方がいるものです。もし、お金がいっぱいあったら幸せになれたり、時間がいっぱいあったら何でも可能になるのでしょうか。多分、アイデアが出てくるのはお金が足りない時であり、時間が足りない時にスピード感が出て、工夫が生まれるような気がします。日本は、世界有数の勤労意欲の高い国なはずですが、資源のない国だからです。原油が出る国は、税金ゼロ、教育費ゼロ、医療費ゼロで逆にお金ももらえるような環境の中では、勤労意欲が湧くはずはありません。多分、お金のある生産国特有の悩みでしょう。社会主義国も、勤労意欲の低下で行き詰まったはずで、お金がないことで、アイデアを出し、時間がないことで工夫が生まれ、スピード感が付いて、仕事が進みます。進み、仕事に、人生に生きがいややりがいが出てくるというものでしょう。

飯館村は、原油国でも社会主義の村でもありません。したがって、村の先人は厳しい状況の中で一生懸命働いて、このふるさとを少しずつ住みよい村にしてくれました。その村を引き継ぐ私たちが、この想定外の状況の中で、商工業や農業に関わらず「もう一度、がんばってみよう」と手を上げていただく方がどんどん多くなっています。その心意気に頭が下がりますし、うれしくもあり、誇りでもあります。今のこの大変な状況を「私たちの財産」にしていくというような考え方にしたいものです。

老いも若きも集まってできる、地域のコミュニティにとって大切なものです。そして完成させるには、多くの人の協力が欠かせません。お囃子・着付け・世話係：たくさん協力があったら、一つの踊りが完成します。物事は成り立ちの過程こそが大切なのだ」と伝えた、理解を深めてほしいと、年数を重ねました。何を言うにしても、過程が大切なです。

そして今年も、復興有志の会で、盆踊りを復活させました。協力してくれた皆さんに心から感謝しています。避難して6年間、子どもや孫が来ても、お線香をあげて帰るだけだったでしょう。今年は、せっかくだからと、盆踊りを見に来てくれた。一緒に踊ってくれた。また来たいと言ってくれた。そんなように車をイスのお年寄りまで見に来てくれた。そこに、子どもも年配者も交流できる輪ができます。先祖を供養し、先人の思いを伝える盆踊りを大事にしたい。ご先祖あつての今だから、いろいろな考えがあるだろうが、自分は故郷を思う姿を、これから見せていきたいです。

心も自分も大切に。

おしえてくんちえ！堀先生

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします

相談 一度暗くなったり落ち込んだりすると、なかなか立ち直ることができません。

堀先生

ある紛争地帯に出かけて研修を行った心理学の専門家が、その場に怒りが満ちていることを感じました。現地の人から「憎しみについてはどうすればよいでしょうか」という質問を受けたそうです。まず、「憎しみが去ることはないかもしれませんが」と答えました。心が深い傷を負った直後には、それに安易な意味を与えられ、慰められることを侮辱のようにとらえる人もいます。その上で、「自分の健康に気をつけること、他の人とつながること、心について学ぶ場に参加すること」などを通じて、心の憎しみ以外の部分を強くすることを勧めたそうです。



精神科医 堀 有伸 先生
ほりメンタルクリニック院長

「心の健康相談」お問い合わせは 健康福祉課健康係 (いちばん館内) ☎0244-42-1638まで

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
巻野 杏 友 ちゃん	公洋・智恵美	伊丹沢
村上 陽 祐 くん	誠・智子	上飯樋
佐藤 一 虎 くん	研太・つばさ	伊丹沢

すくすくと元気に育ってね



ひとのうごき

(平成29年7月31日現在)

人口	今月 (前月比)
男	2978人 (-2)
女	2999人 (-11)
計	5977人 (-13)
世帯数	1807戸 (+1)

7月1日～31日までの
◆◆人口動態◆◆

転入	2人
転出	12人
出生	6人
死亡	9人

(住民基本台帳人口)

おくやみ

氏名	年齢	行政区
佐藤 眞砂子	86	前田
佐藤 庄太郎	85	伊丹沢
菅野 フサエ	91	関根・松塚
菅野 ハルヨ	90	佐須
高橋 サツキ	90	小宮
高野 操	85	大倉
菅野 富吉	90	上飯樋

ご冥福をお祈り申し上げます



(7月21日から8月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

HOPES

ホープス セカンド
2nd

高橋さんが所属する相馬農業高校飯館校の演劇部は、8月2日、全国コンクールに出場しました。上演したのは、「サテライト仮想劇―いつか、その日に、」。満席となった1400席から、惜しみない賞賛の拍手が贈られました。高橋さんは、村出身の先生役。「共感する部分があります。感情をこめました」。幕が降りた時には、「自分なりによくやった」と思えたそう。「それ

役に自分の思いを重ねて

高橋 夏海さん（上飯樋）
& 飯館校演劇部の皆さん



相馬農業高校飯館校の3年生。1年生から演劇部に所属。2年連続の東北大会出場を経て、この夏、初の全国大会へ。部内で唯一村の出身。



左は、宮城県仙台市のイズミティ21で開かれた全国コンクールの舞台。優良賞と舞台美術賞を受賞しました。右は、部の仲間たちと。



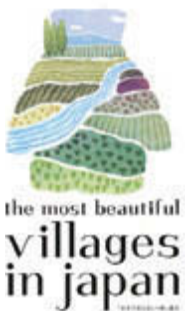
でも時間が経つと、もつとできなかつたかと思ってしまう。胸に迫る素晴らしい演技を見せる部員たちですが、脚本を手掛ける顧問の西田直人先生によると、「決して器用ではない」そうです。「けれど逃げないでコツコツと取り組んできた。その結果なのだと思えます」。今大会は、皆が自身の成長を感じた舞台でもありました。「他の誰にもできない5人の劇だった」。大会が大きくなる度、学校、地域、県、被災地：と背負う感じがあつて、伝えなくてはという使命感があつた。「緊張と向き合つた。周囲の人への感謝が、悔いの残らない演技につながつた。折れそうになつても踏ん張れるのは支えへの感謝があるから」。

高橋さんを含め5人の部員は全員が3年生。進学や就職の試験準備に忙しい毎日です。部活動で培った力を生かして目標を達成し、卒業公演でもう一度、5人だからできる演劇を見せてほしいものです。

〈編集後記〉

●「素敵だね」「がんばつてね」「また来るよ」「久しぶりだね」。たたて村の道の駅までい館がついにオープン！お盆期間中は特に、連日多くの方が足を運んでくださいました。全村避難に遭つた村にたくさんの方が集まっている事、目の前の光景に嬉しさから涙ぐんでしまいました。道の駅はまだまだこれから。みんな「までい」に育てていきましょう！（木幡）

●お笑い芸人の間寛平さんが被災地を走り元気を届ける「みちのくマラソン」。6年目の今年、5日目のゴールに、村の道の駅を選んでくれました。阪神淡路大震災で被災している寛平さん。「分かるんや。自分の家に帰れないつらさが。ここで皆の明るい笑顔に会えてありがたい。また来て復興する様子を見ていきたい。広報は明るい話題でいっぱいにしてな」。温かなエール、大事にします。（倉屋）



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。